

第5学年 年間指導計画(国語科 全143時間)

学習の目標

- 目的などに応じて、伝えたいことをわかりやすく話したり、相手の気持ちを考えながら聞いたりすることを学ぶ。また、計画を立てて話し合おうとする態度を育てる。
- 目的などに応じて、筋道を立てて文章を書くことを学ぶ。また、効果的に書こうとする態度を育てる。
- 目的に応じて、内容や要旨を捉えながら読むことを学ぶ。また、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

学習の方法

- 自分の考えを資料に示しながらスピーチしたり、目的意識を持って友達の考えを聞いたり、調べたことを話し合ったりする活動を取り入れる。
- 手紙を書いたり、調べたことや経験したことを文章に表したりすることを取り入れる。
- 図鑑や辞書を活用して、調べる活動を取り入れる。

学習の評価

次の5つの観点にそって、どれだけ達成できたかによって評価する。

1. 国語への関心・意欲・態度
2. 話す・聞く能力
3. 書く能力
4. 読む能力
5. 言語に関する知識・理解・技能

「よいこのあゆみ」では、それぞれについての総合的な結果を知らせる。評価の方法は、ペーパーテストのほか、プリント、ノート、発表などである。

単元名	主な学習内容
1 自分の思いが伝わるように声に出して読もう	物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、声に出して読む。
・だいじょうぶ だいじょうぶ	学習のねらいを確かめ、情景を思い浮かべながら物語を読み、考えたり感じたりしたことを話し合う。
	朗読の工夫について話し合い、場面を決めて朗読の練習をする。
・本に親しもう	グループで朗読を聞き合い、相互評価する。
	読んだ本について、「読書ノート」に記録することや、本の帯を使った紹介の仕方を知る。
・メモを使って題材をさがそう	連想によって言葉を広げ、書く題材を探す。
	学習のねらいを確かめ、一つの言葉から「連想メモ」を書いて題材を探し、書きたい話題を決める。
	書く話題について詳しく思い出し、構成を考えて文章を書く。
・文の組み立てに気をつけよう	言葉の係り受けに理解を深め、意味が正確に伝わる文を書くことの大切さを知る。
	二つの意味にとれる文について、それぞれの意味をとらえ、その原因と、文の意味をはっきりさせる方法を理解する。
2 文章の構成を考えながら要旨を読み取ろう	文章の構成を考えながら、要旨を読み取る。
・動物の体と気候	題名や扉の写真をもとに動物の体と気候との関係を考え、説明文を通読して学習のねらいを確かめる。
	文章の構成を考えながら読み、読み取ったことをノートに整理したり感想を発表したりする。
	文章構成図を書き、要旨をノートにまとめ、読み取ったことを確かめる。
・ゲストティーチャーをすいせんしよう	理由を明確にして、人物を推薦するための話をする。
	学習のねらいを確かめ、メモ例や話例をもとにして推薦する理由を挙げる際の観点や、推薦する話し方について話し合う。
	「やってみよう」で、推薦したい人を決めて話す練習をする。
・漢字の由来に関心を持とう	漢字の由来について知り、漢字の四つの成り立ちを理解する。
・漢字の練習	練習題を行ったり、他の漢字について漢字辞典を利用して成り立ちを調べたりする。
3 物語の構成に気をつけて読もう	「設定」「展開」「山場」「結末」の部分を確認して、物語の構成をとらえる。
・世界でいちばんやかましい音	学習のねらいを確かめ、物語を読んで初発の感想を発表する。
	物語の構成が「設定」「展開」「山場」「結末」の四つの部分に分けて考えることができることを知り、「世界でいちばんやかましい音」を四つの部分に分けてとらえる。

	四つの部分で起きた出来事を整理し、物語のあらすじをまとめる。
	中心となる人物である王子様の変容や、「設定」の部分と「結末」の部分とで町の様子がどのように変わったかを読み取る。
・意見とその理由を聞き取ろう	ふさわしい理由を挙げて意見を述べているか、考えながら聞く。
	学習のねらいを確かめ、教科書P57の話例とP58のメモ例を対照してメモの取り方を知る。
	話例を聞いてメモを取り、理由がふさわしいものかどうか話し合う。
	「やってみよう」で、意見の理由がふさわしいものかどうか考えながら聞く練習をする。
・熟語の構成を知ろう	二字熟語について、語の構成から意味を推測できることを知り、その方法を理解する。
	二字熟語の構成について、五つの型を理解する。
4 書き手の意図を考えながら新聞を読もう	二つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る。
・新聞記事を読み比べよう	学習のねらいを確かめ、教科書P64-67を読んで新聞の特徴や編集の仕方、記事の書き方などを理解する。
	二つの記事に書かれている内容を読み比べ、共通しているところと違っているところをとらえてノートに整理する。
	二つの記事を写真と関連付けながら読み比べ、記事と写真の関係を読み取る。
	記事の内容や写真に合った見出しを書き、それぞれの良さや工夫を考える。
・立場を明確にして書こう	自分の意見が分かりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成を考えて書く。
	学習のねらいと流れを確かめ、身近な問題から意見文の題材を決める。
	題材について賛成か反対か立場を決め、その理由をメモに書く。
	自分が考えた理由の中から説得力のあるものを選び、例文を参考にして効果的な構成を考える。
	構成をもとに意見文を書き、推敲する。
	意見文の交流会を開き、互いの考えを伝え合う。
・古文を声に出して読んでみよう	古文の冒頭を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。
	古文について知り、「竹取物語」の冒頭を音読して内容の大体をつかむ。
	「徒然草」、「平家物語」を音読し、内容の大体をつかむ。
	教科書に載っているもの以外の古文の冒頭を探し、古典作品への興味を広げる。
・本は友達	多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。
	読書体験について書かれたエッセイを読み、読みたい本を探して楽しんで本を読む。
5 詩と俳句を味わおう	情景や心情を思い浮かべながら、詩や俳句を声に出して読み味わう。
・水のころ	言葉の響きやリズムを大切に詩や俳句を読み、作品に込められた情景や心情を想像して話し合う。
・山のあなた	
・俳句	詩や俳句を声に出して読み、文語調の調べやリズムを味わう。
・パネル討論をしよう	自分の立場を明確にして、相手の意図を考えながら話し合う。
	学習のねらいや活動の流れを確かめ、パネル討論の進め方を知る。
	テーマを決めてグループに分かれ、パネル討論の準備をする。
	実際にパネル討論を行った後、考えを深める討論になっていたかどうか振り返る。
・資料を読んで考えたことを書こう	資料を生かして、自分の考えたことが伝わるように書く。
	学習のねらいを確かめ、例文を比べて読み、資料から分かったことがどのように書かれているかをとらえる。
・漢字の練習	資料から得た情報をもとに、伝えたい内容や資料の中から読み手に提示したいものを選び、メモに書く。

	メモをもとに構成を考え、文章を書く。
	書いた文章ともした資料を比べ、資料の情報が効果的に生かされているかを確認する。
6 物語のおもしろさを考えて読み味わおう	構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わう。
・注文の多い料理店	学習のねらいを確認、物語を読んで初発の感想を発表する。
	物語の構成をとらえ、「現実の世界」「ふしぎな世界」に当たる部分がどこか確認する。
	戸に書かれていた言葉の意味と紳士の解釈や、物語全体を通して二人の紳士がどのように変化したのかについて考える。
	「注文の多い料理店」の中にある表現の工夫やおもしろさを探し、解説ノートにまとめる。
・ふしぎな世界へ出かけよう	構成を考えて、場面の情景が伝わるように表現を工夫しながら筋道の通った物語を書く。
	学習のねらいと流れを確認、物語に書きたい不思議な世界や主人公の人物像を考える。
	四つの部分や物語の転換する部分(現実—ふしぎな世界—現実)を手がかりに、物語の構成を考える。
	構成をもとに、情景や人物の様子や気持ちが伝わるように表現を工夫して文章を書く。
	互いに書いた物語を読み、感想を伝え合う。
・意味をそえる言葉に目を向けよう	程度や限定、強調を表す言葉の働きや使い方を理解し、文のニュアンスをとらえる。
	副助詞について知り、話し手のニュアンスが込められていることを理解する。
	練習題を行い、それぞれの副助詞が、文にどのような意味を添えているか考える。
7 森林について興味を持ったことを調べよう	題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を読み取る。
・森林のおくりもの	学習のねらいと流れを確認、説明文を通読して初発の感想を発表する。
	題名の工夫や述べ方に注意して、教科書P47の文章構成図を参考にしながら書かれている内容や筆者の考えを読み取り、要旨をノートにまとめる。
	森林について詳しく知りたいことをカードに書き出し、課題についての資料を収集・整理して「森林ブックガイド」を書く。
	各自が書いたブックガイドをまとめて読み合い、成果を交流する。
8 ふさわしい方法を選んで発表しよう	内容や目的に合わせて、効果的な発表方法を工夫する。
・気持ちを伝える言葉について考えよう	学習のねらいや活動の流れを確認、気持ちを言葉で伝える場面の経験について話し合う。
	グループごとにテーマを決め、言葉の使い方まつわる経験をカードに書き出す。
	カードをもとに気持ちを伝える言葉の使い方について分析し、発表する内容を話し合う。
	発表の方法を考えて、練習をする。
	発表会を開いた後、自分たちの発表方法が適切であったかどうかを振り返る。
	「方言と共通語」を読み、方言と共通語について理解する。
・敬語を適切に使おう	敬語の種類や役割を知り、適切な使い方を理解する。
	敬語を使う意義について考え、その種類や使い方を理解する。
	練習題を行い、敬語の使い方について理解を深める。
9 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう	一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。
・大造じいさんとがん	学習のねらいと流れを確認、物語を読んで展開に沿って大造じいさんの残雪への気持ちの変化を読み取り、心に残ったことを話し合う。
	動物と人間のかかわりをえがいた本を読む。
・漢字の練習	読んだ本の中から友達に推薦したいものを一冊選び、本の帯を作って紹介し合う。
	教科書P81の「漢字の練習」を行い、4年生で学習した漢字を書く練習をする。
・古文に親しもう	古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知る。

	「枕草子」を音読し、内容の大体をつかむ。
	解説文を読み、現代の自分たちの見方や感じ方と比較する。
	「春はあけぼの」にならない、季節の風物詩を自分なりに取り上げ、簡単な随筆を書く。
10 活動したことを伝える文章を書こう	目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く。
・伝えよう、委員会活動	学習のねらいと流れを確かめ、活動報告に書く事柄を考える。
	これまでの活動を振り返ったり、下級生にどんな内容を伝えたらよいかを話し合ったりして、自分が所属している委員会の活動についてメモに書き出す。
	メモをもとに書く内容やそれにふさわしい資料を選び、リーフレットのレイアウトを考える。
	見出しを立てたり写真や資料を使ったりして、読み手に分かりやすくなるように工夫して活動報告文をリーフレットにまとめる。
	学級でリーフレットを読み合い、内容や表現について見直す。
	下級生を対象に交流会を開き、リーフレットを読んでもらう。
・わたしの「とっておきの一枚」	組み立てを工夫して話し、話し手の思いをとらえながら聞く。
	学習のねらいや活動の流れを確かめ、写真を選んで話したいことを考える。
・漢字の練習	話の材料を書き出し、組み立てを考えて組み立てメモを作る。
	組み立てメモをもとに、スピーチの練習をする。
	クラスの前でスピーチをし、聞き手は心に残ったことを一言で表して感想や質問とともに述べる。
11 メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう	例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、読み取ったことをもとに自分の考えを書く。
・テレビとの付き合い方	生活の中で情報を得るために利用しているメディアの種類やそれぞれの特徴について知っていることを発表した後、学習のねらいと流れを確かめ、説明文と[資料]を通読して初発の感想を発表する。
	説明文を読んで筆者の考えを読み取り、筆者が文章の中で示している図について考え、整理する。
・漢字の練習	いろいろなメディアや身の回りの情報について考えたことをまとめ、互いの考えを伝え合う。
12 人間の生き方をえがいた伝記を読もう	伝記を読み、人物の考えや生き方について考える。
・手塚治虫	学習のねらいと流れを確かめ、伝記を読んで初発の感想を発表する。
	文章のまとまりごとに治虫と漫画との関わりを読み取り、手塚治虫の考えや生き方について考える。
	手塚治虫の考えや生き方について、自分はどのように読み取ったか話し合う。
	他の人物について書かれた伝記を読み、今の自分と将来の自分を照らし合わせて自分の生き方について考え、文章に書く。
	書いた文章を読み合い、学習を振り返る。